

(様式 1-3)

田野畑村復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成30年12月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	63	事業名	埋蔵文化財収蔵整理棚等整備事業	事業番号	◆A-4-1-1
交付団体	田野畑村		事業実施主体(直接/間接)	田野畑村(直接)	
総交付対象事業費	3,297(千円)		全体事業費	3,297(千円)	
事業概要					
<p>津波により被災した個人住宅、漁集集団移転事業等の復興関連事業に伴う埋蔵文化財発掘調査で出土した遺物等の整理・収納・活用を適切に行うための整理棚の整備を実施する。</p> <p>整備施設は、田野畑中学校旧寄宿舎の食堂 340.992 m²の一部 154.8 m²を活用し、収納コンテナ箱は(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターのものが移譲される予定である。</p> <p>・整理棚整備規模 : 遺物収蔵コンテナ 215 箱、11 調査分の A0 版等大型図面、ネガ・写真等。</p> <p>・遺物収納棚(幅 180cm×3 段) : 24 連 1 連あたり遺物収蔵コンテナ 9 箱(1 箱 : 440×600×150 mm) 収蔵可能。 215 箱÷9=23.88≒24 連</p> <p>・A0 版等大型図面収蔵用棚(幅 180cm×3 段) : 1 連</p> <p>・図面・材・写真収納書架(幅 90 cm×6 段) : 11 連 (1 調査あたり 1 連使用予定)</p>					
当面の事業概要					
<平成 31 年度>					
収蔵施設内設備整備					
①遺物等整理棚の設置					
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災で被災した住民の住宅再建、復興道路の開発行為に伴う埋蔵文化財発掘調査がほぼ終了したが、村には現在その成果を収納する施設がなく、(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターに保管をお願いしている状況である。これまでの村独自の学術調査や開発行為による発掘調査の成果は、まとめて田野畑村民俗資料館に展示しているが、復興事業による発掘調査の成果を村民共有の財産として活用するための整理・保管設備が必要となっている。</p> <p>※区域の被害状況も記載して下さい。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
なし。					
※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。					
関連する基幹事業					
事業番号	A-4-1				
事業名	埋蔵文化財発掘調査事業				
交付団体	田野畑村				
基幹事業との関連性					
<p>埋蔵文化財発掘調査による出土遺物は国民共有の財産として永続的に整理・保管・活用されるものであり、そのための活用に向けた効果的な収納方法が求められている。</p>					